

平成20年度 決算報告書

国立大学法人 信州大学
(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,770	16,124	△ 645	注1
施設整備費補助金	946	1,445	499	注2
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	384	394	10	注3
国立大学財務・経営センター施設費交付金	70	70	-	
自己収入	23,100	23,999	898	
授業料、入学料及び検定料収入	6,870	6,777	△ 93	注4
附属病院収入	16,011	16,499	488	注5
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	219	722	503	注6
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,952	3,173	221	注7
引当金取崩	91	82	△ 7	注8
長期借入金	1,796	1,796	-	
承継剰余金	-	47	47	注9
目的積立金取崩	60	292	232	注10
計	46,169	47,424	1,255	
支出				
業務費	31,106	30,824	△ 281	
教育研究経費	17,395	16,005	△ 1,389	注11
診療経費	13,711	14,819	1,107	注12
一般管理費	5,491	5,398	△ 92	注13
施設整備費	2,812	3,311	499	注14
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	384	394	10	注15
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,952	3,300	348	注16
長期借入金償還金	3,424	3,394	△ 29	注17
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	46,169	46,623	454	
収入—支出	-	801	801	

予算と決算の差異について

- 注1 : 前年度からの運営費交付金債務の取崩を行わなかったこと及び附属病院新外来棟に係る移転費・設備費の執行が次年度となったため予算金額に比して決算金額が645,871千円少額となっています。
- 注2 : 補正予算により施設整備費補助金が交付されたため、予算金額に比して決算金額が499,279千円多額となっています。
- 注3 : 予算段階では予定していなかった補助金等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が10,341千円多額となっています。
- 注4 : 授業料、入学料及び検定料収入については、学生数及び入学人数が予定を下回ったため、予算金額に比して決算金額が93,173千円少額となっています。
- 注5 : 附属病院収入については、診療単価の増に伴う収入の増により、予算金額に比して決算金額が488,457千円多額となっています。
- 注6 : 雑収入については、学校財産貸付料収入の増等により、予算金額に比して決算金額が503,600千円多額となっています。
- 注7 : 予算段階では予定していなかった受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が221,744千円多額となっています。
- 注8 : 予算段階で計上していた引当金と実際の引当金額に差額が生じたため、予算金額に比して決算金額が7,651千円少額となっています。
- 注9 : 予算段階では予定していなかった承継剰余金の支払いが生じたため、予算金額に比して決算金額が47,000千円多額となっています。
- 注10 : 予算段階では計上していなかった目的積立金を取り崩したため、予算金額に比して決算金額が232,132千円多額となっています。
- 注11 : 教育研究経費については、経費の節減に努めたほか、退職者の減及び配置見直し等による人件費の減及び複数年度に渡る事業のため、予算金額に比して決算金額が1,389,920千円少額となっています。
- 注12 : 注5に示した理由及び医療従事職員の雇用増により、予算金額に比して決算金額が1,107,983千円多額となっています。
- 注13 : 一般管理費については、経費の節減に努めたほか、退職者の減及び配置見直し等による人件費の減により、予算金額に比して決算金額が92,711千円少額となっています。
- 注14 : 注2に示した理由により、予算金額に比して決算金額が499,279千円多額となっています。
- 注15 : 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が10,341千円多額となっています。
- 注16 : 注7に示した理由により、予算金額に比して決算金額が348,869千円多額となっています。
- 注17 : 予算段階の債務償還計画の見直しから、予算金額に比して決算金額が29,697千円少額となっています。